



たから

～あいさつの響き合う家庭・学校・地域づくり～

フィールドワーク（三中・三年生）

事前に境港市役所の職員の方から、町づくりについて説明を受けていた生徒が水木しげるロードを訪れ、境港市が取り組んでいるSDGsな町づくりについて調査を行いました。生徒は、お店の方にもインタビューを行い、実際取り組んでいることやお困りごとなどを聞かせてもらいました。

9月の修学旅行で、京都市が観光地として取り組んでいることを観て帰り、今後境港市に生かせることはないか考えます。修学旅行は一生に一度です。楽しく思い出作りしてほしいです。



クロムブックで撮影する生徒



外江小2年生・町たんけん

ボランティアさんに付き添ってもらって、グループに分かれて地域に出かけました。挨拶や質問も立派にして、自分の役割をしっかりとこなす姿が印象的でした。一回り成長した2年生でした。



渡小5年生・理科メダカの誕生

今年もあらしまやの佐々木圭さんに来ていただき、オスメスの選別をしました。教科書だけでは伝わらない、本物に触れる授業でした。児童は真剣に取り組んでいました。



三中福祉文化委員会

学校で集めたペットボトルのキャップを外江公民館長さんに渡しました。このキャップは、開発途上国の子どものワクチン接種に役立てられることになりました。

大人熟議（先生46人、CS委員16人）

渡小、外江小、三中の先生方とCS委員とで熟議を行いました。テーマは「三中校区の地域・家庭・学校の連携について」です。普段、顔を合わせることの少ない者同士がお互いの思いを語り合う場です。毎日子どもたちと過ごしている先生たちの意見や思いを、今後一つでも形にしていかなければと思いました。



「何かあったらあそこの郵便局に行くんだよ。と見守り隊の人に教えてもらっていたらしく、鍵がかかっていて家に入れなかった児童が郵便局に来ました。」と外江の郵便局長さんから教えてもらいました。渡でも、毎日家の前で『ながら見守り』をしてくださっておられる方から、「帰り道が分からなくて泣いていた1年生がいて、ご近所の人と協力して家の前まで送り届けました」とお話を聞きました。

地域の方の見守り活動は、毎日当たり前のように行われています。子どもたちを安心して家や学校から送り出せるのも、こうした方々のおかげだということをあらためて思いました。皆さん、毎日ありがとうございます。文責：高梨 典子（地域学校コーディネーター）

